

祖父江 憲治 (Kenji Sobue)

〔原著〕

1. Morita, T., Mayanagi, T. & Sobue, K.* Caldesmon regulates axon extension through interaction with Myosin II. *J Biol Chem.* 287, 3349-3356 (2012).
doi: 10.1074/jbc.M111.295618

〔著書・総説〕

1. Sobue, K. The actin cytoskeleton as a pivotal molecular basis for cell motility. *Cell Adh Migr.* 5, 151-152. (2011)
doi: 10.4161/cam.5.2.15257
2. Mayanagi, T. & Sobue, K.* Diversification of caldesmon-linked actin cytoskeleton in cell motility. *Cell Adh Migr.* 5, 150-159. (2011)
doi: 10.4161/cam.5.2.14398

〔国内学会〕

1. 祖父江 憲治: ストレスホルモン曝露に伴うシナプス形成・可塑性障害の分子メカニズム(ポスター発表). 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク 夏のワークショップ 2011 年 8 月 21 日 神戸.
2. 祖父江 憲治: ストレスホルモン曝露に伴うシナプス形成・可塑性障害の分子メカニズム(口頭発表). 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク 夏のワークショップ 2011 年 8 月 21 日 神戸.
3. 祖父江 憲治: ストレスホルモン曝露に伴うシナプス形成・可塑性障害の分子メカニズム. 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク 冬のワークショップ 2011 年 12 月 17 日 熱海.
4. Kazuyoshi Nakamura, Taira Mayanagi, You Komagiri, Kenji Sobue & Manabu Kubokawa: Involvement of interferon- γ in modulating K⁺ channel activity in human kidney proximal tubule cells. 第 89 回 日本生理学会大会シンポジウム: 上皮イオン輸送の細胞分子メカニズム 2012 年 3 月 29 日 松本.

〔招待講演・セミナー〕

1. 祖父江 憲治: 大脳形成とシナプス形成障害における精神・神経疾患発症の分子メカニズム(細胞骨格からのアプローチ) 第1回 岩手ニューロサイエンスミーティング 2011年07月25日 盛岡
2. 祖父江 憲治: 魚油 (fish oil) による「いわて」活性化 いわて医大・岩手生工研包括連携協定締結記念シンポジウム 2011年11月07日 盛岡

〔その他〕

新聞・マスコミ発表

「復興貢献へ英知結集 岩手生工研・岩手医大 協定記念しシンポ」岩手日報 2011年11月8日朝刊

〔アウトリーチ活動〕

「魚油 (fish oil) による「いわて」活性化」 岩手医大・岩手生工研包括連携協定締結記念シンポジウム 2011年11月07日 盛岡

岩手医科大学と岩手生工研との包括連携を記念して「海産物の機能性と新需要・新産業創出への道～三陸沿岸復興に向けて～」(於盛岡市内エスポワールいわて)にて、生理活性脂質の精神・神経疾患への関与および治療・創薬への可能性について、水産業や医療の関係者など多くの市民に対して紹介。

内容は岩手日報(2011年11月8日付)およびIBC岩手放送でも報道がなされた。